

9月23日は交通安全全市民大会

—秋の全国交通安全運動 9月21日～30日

秋の交通安全運動が、九月二十一日から三十日まで、全国一斉に展開されます。

当市では、期間中の九月二十三日、「交通安全市民大会」が長木川市民ひろば野外ステージ付近で開かれます。この日は、交通安全とともに自転車競技大会や綱引き大会、ダミーを使った衝突実験などが行われますので、家族そろってご参加ください。

誓いの火が

市内を走る

下川沿、花矢、長木、十二所の四方面から、交通安全市民大会の会場へ向って“誓火リレー”が行われます。川口方面は田代

木川市民ひろばへ二時到着の

予定です。誓火ランナーへの
声援をお願いします。

会場は

8時30分・交通安全ゲートボーリ大会

9時

・交通安全看板作成工
ンクール

種目・男子の部、女子の部
参加料・無料

歩行中の

死亡事故の特徴

お年寄りの歩行中の死亡事故の中でもっとも多いのが、道

▶昨年の交通安全市民大会



—お年寄りの吉々会—

交通安全のルールと マナーの確認を

“歩行中”の事故死亡が半数以上

後ろから走つてくる

車に用心を

を横断している場合で、死亡者十人中、七人以上という割合になっています。

信号無視してはいけませんし、横断しようとして、駐車している車の陰から道へ出ることも事故の原因となります。あなたの目に車が見えているからといって、運転している人からあなたが見えているとはかぎりません。

また、自分の体力に自信をもちすぎないことも、交通事故から身を守るために大切なことです。とくに、幅広い道路を横断するとき、今、信号が青だからといって渡るのはなく、もう一度青になるのを待つてから渡る余裕をもつことが、あなたの安全を守ることにつながるのです。

人間は後ろに目がありません。追い抜いていく車にひっかけられることが多いように、必ず道路の右側を歩きましょう。自分の体力を正しく判断してとつさの動作を必要としないよう、交通ルールを守り、安全な生活を送りましょう。

は、横断中の事故に次いで多いのは、道路左側を歩いているときです。車は左側通行のため、歩いているあなたの後ろから走ります。

—9月は健康増進普及月間です—

日ごろから、適切な栄養・運動・休養を心がけましょう。